

輪島市まんなか商店街振興組合 第3回まち塾(まちなか商店学習塾)

起業の楽しさを新築のカフェで考える 「カウンターの内側」に立って見えること ——セブンアイルズ、アグラディート

郷里への思いとバーテンダーという職業を通して磨いた独自の哲学で、輪島に新しい風を吹き込む塾長。今回のまち塾は、2月にオープンしたばかりの2号店「アグラディート」を会場に開催しました。

当日は中学生から若年層、商店街役員など26名が参加。塾長のお話では、起業、経営理念、今後の事業展開と長期にわたるライフプランに続き、今一番力を入れている人材育成について持論を展開。2号店シェフやスタッフのとの出会いから、プロになるための教育、いずれはお店をまかせたいという言葉から、人を育てる責任や、個性と魅力を見極めた独自の育成術が感じられました。

職業体験では中学生たちがカウンターの内側に入り、専用マシンを使ったカフェラテづくりと、甘エビのアヒージョン調理を体験。参加者に試食してもらいました。

【開催してみて】

- 参加者とともに地域愛を再確認した。
- 中学生から大人まで多世代が参加した。
- 1回の開催では伝えきれないと感じた。

【成果のポイント】

- 人材確保が難しいなら自分でほしい人材を作る。目的をはっきり認識させることや、どれだけ自分のお客様がもてるかが大切。
- 必要となった組織運営の参考になった。
- 参加者の中で、塾長の話聞いて、将来農業がやりたいと夢をもつ若者が現れた。

